▶**通学合宿**　料理だって掃除だって何でも子どもたちでやる3泊4日。終わった後は充実感いっぱいの笑顔でした。

〈子どもの居場所〉は、子どもたちのコミュニケーション能力を鍛える場でもあります。地域も年齢も超えた人間関係を持つことは、子どもたちの視野をより広げます。

いろんな人に出会える場所

◆通学合宿

起床時間は毎朝5時半。眠い目をこすりつつラジオ体操を終えた子どもたちを、待っていたのは、朝ご飯…ならぬ朝ご飯の支度でした。家では大人が用意してくれる食事も「通学合宿」中は、すべて子どもたちが用意します。もちろん「朝食抜き」は許されません。しっかり食べて後片付けを済ませたら学校へ。こんなふうに7月2日からの3泊4日、花川北児童館では4～6年生の10人が、炊事も掃除も「自分たちのことはすべて自分たちで行う」という生活を送りました。

地域の施設で子どもたちが寝食を共にし、学校に通うという「通学合宿」は、昭和58年に福岡県で行われたのがはじまりで、子どもたちの自主性を育てることが狙いです。また、学年を超えた、子ども同士のつながりができるのも、大きな魅力の一つでしょう。

「参加した後では子どもも変わるが、大人も変わる」とは、平成14年に市内で初めて行われてからこれまで、「通学合宿」の活動を見つめてきた石狩市子ども会育成連絡協議会会長の五十嵐正勝さん。合宿日初日は、興奮もあって子どもたちは大抵、夜更かしをするが、「どんなに夜更かしたって次の日は、朝ご飯を用意して食べて学校に行かなければならないから、じきに自分の判断で早く寝るようになる」と笑います。また、それを見守る親たちも「合宿中は手出し無用。やきもきする場面も多いでしょうが、結果的には子どもに自力でやり遂げるチャンスを与えていることに気付く」といい、親たちの意識の変化にもつながると指摘します。

公共施設を利用することから「通学合宿」は地域の人々の理解と協力もまた不可欠です。〈子どもと子ども〉、〈親と子〉ばかりでなく、〈地域と親子〉の信頼関係を築く格好の場であるといえるのかもしれません。

▲**ふるさと新発見バスツアー**　市村合併を記念し石狩・厚田・浜益の各地区の子どもたちが1台のバスに乗って市内を巡ります。

◀**わんぱくスポーツスクール**　子どもの体力や運動能力の低下などを考慮した子どもの野外体験活動。スポーツに特化したプログラムが特徴で、浜益区内一円を会場に開催されました。

▲子ども体験広場「レッツ！ カニつり」　浜益区の群別漁港を舞台に、子どもたちのカニつり合戦が展開！中には初めて触るという女の子もいました。

▶ 児童館ではいろんな仲間が集まって、すぐに一緒に遊び出します。

▼**児童館**　幼児と児童、その保護者なら、誰でも利用できる児童館。写真の花川南児童館ではボール遊びが子どもたちの一番人気。

◆児童館

児童館は「幼児と児童、その保護者が利用できる」児童厚生施設です。

今回、取材した花川南児童館には子どもたちが伸び伸びとボール遊びを楽しめる小さな体育館があり、そのため時折「児童館のクラブ（※）に所属してなくても使っていいですか？」「違う地区に住んでいるけど遊びに行っていい？」といった問い合わせがあるといいます。

「もちろん、ぜひ遊びに来てください！」と、同館のこども室児童指導員の秋永千鶴子さんは大歓迎。「児童館はたくさんのお友達が利用し、集まるところ。だから〈自分には友達ができない〉と思っているお子さんにも、子どもたちが多い分、気の合う仲間が見つかる可能性が高い。児童館の最大の魅力です」と、強調します。

児童館には次のようなエピソードもありました。それは七夕まつりでのこと。子どもたちと作った短冊を玄関に飾ると、「それを見た近所のおじいさんが懐かしく思ったのでしょうね。自ら『みんな仲良く』と書いた短冊を飾っていかれました。児童館は地域に見守られているんですね」と、その日のことをしみじみ思い出す秋永さんです。

児童館には、さまざまな人が足を運びます。昔ながらの遊びであるお手玉や折り紙を教えてくれる人、紙飛行機など工作を教えてくれる人、時には児童館出身の、高校生や専門学校生たちも顔を出します。そこには家庭や学校とはまたひと味違った温かい人間関係があって、これもまた児童館の魅力といえるでしょう。

※放課後児童会のこと。放課後、家に帰っても保護者が仕事などで昼間家庭にいない小学校低学年（1～3年生）の児童を対象に、適切な遊びおよび生活の場を与えて、生活指導を行うなど児童の健全育成が目的

今回、ご紹介した活動以外にも、石狩市にはさまざまな〈子どもの居場所〉があり、写真でも一部ご紹介しているように、市公民館やいしかり砂丘の風資料館、市リサイクルプラザ、石狩浜海浜植物保護センター、市教育委員会などがそれぞれの特徴を生かした企画を展開しています。ほかにも、市内NPO法人など市民主催の楽しくて、ためになるイベントが多数開催されており、広報では今後も【情報ひろば】を中心にこれらの情報をご案内していく予定です。